

特定非営利活動法人 モノづくり応援隊in大田区

活動の記録 第10報
設立10周年記念号
2005年7月～2015年3月

10年目の新たなスタートをしました

モノづくり企業経営者の皆様と悩みを
共有し一緒に現場に即した課題の
解決を図り連携の輪を作っていきます

10年間の活動のあゆみをご一読ください

モノづくり応援隊in大田区 設立10周年記念号

理事長挨拶：前田 幸穂

モノづくり応援隊in大田区は2005年設立以来、多くのモノづくり企業様、関係の団体様から厚いご支援を賜り、本年10年を迎えることとなりました。その間、組織のメンバーは微増しながらほぼ50名の規模を推移しており、活動の範囲も拡大しつつあります。これも皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。支援させていただいた多くの企業様から、連携企業の紹介依頼や、工場空地の活用など、大田区共通の課題に通じるニーズが多く寄せられ、「地域コミュニティの弱体化」を強く感じ、改めて「大田区モノづくり企業及び関係者との信頼に基づく連携により互いの発展に貢献する」という経営理念に沿った活動の強化が必要と考えております。設立10周年の節目に当たり、「おおたモノづくり連携の会」を発足させ、「大田区・モノづくりの未来を考える」をテーマとした10周年記念事業にて、これまでのご支援への感謝と、今後へのご教示をいただき、大田区共通の課題への取り組みの新たなスタートを切っていきたいと考えます。今後とも、関係各位のご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



祝辞：舟久保 利明 様（一社）東京工業団体連合会 会長

モノづくり応援隊in大田区設立10周年おめでとうございます。
大田区のものづくりにとって年々取り巻く環境が厳しさを増しています。そのような状況下にあって、応援隊の活躍は立派な業績を残しています。特に、企業の地道な活動を支えるべく過去の経験を活かした会員の皆様の献身的な活動には頭が下がるばかりです。是非とも皆様の活動が広く社会に認められるよう協力するとともに、今後とも従来活動を継続するために僅かばかりではありますが、公的組織の長としてののできるだけの援助をしてまいる所存です。



祝辞：田中 宏和 様（前理事長） 静岡大学 情報学部 教授

10周年記念誠におめでとうございます。大田区は浜松と同様、日本を代表する産業集積地です。町工場の衰退は産業基盤の弱体化に直結するため、町工場の活力を高めていくことが求められています。私は「ITを使った町工場の経営革新」をテーマに浜松で活動しています。ITは改善活動の道具であり「異常の見える化」による「不良ゼロ、納期遅れゼロ」を目指し、データに基づく意思決定と粘り強い業務改善が必要です。町工場は資本面や研究開発面では大企業には及ばないものの、機動力が高く顧客に密着したきめ細かい対応ができる点に特長があります。しかし、一方でマネジメント力が弱いために高い潜在力を十分に活かしていないという弱点があります。大田区で活動するモノづくり応援隊への期待はまさにそこにあります。応援隊には専門知識と豊富な経験をもつメンバーが多く、親しみやすく明るい雰囲気がある点が気に入っています。



企業支援活動

【2005年】企業支援活動の開始

- ・モノづくり応援隊in大田区を設立し、メンバー公募で15名を選出して、大田区のモノづくり企業34社を訪問、6件の企業の経営改善への支援をさせていただきました。この時の5社がNPO法人設立時の企業理事にご就任頂き今回の10周年を迎える事ができました。

【2006年】公的支援の活用

- ・2005年5社の経営支援の経営改善の継続支援と新規の1件の経営改善支援を行った。
- ・支援活動:無料の経営課題の整理2時間2日後、公的支援を活用して支援を実施した。
- ・公的支援の活用:(独)中小企業基盤整備機構のIT推進アドバイザー制度(8時間10回)
(財)大田区産業振興協会のビジネスサポート事業専門家(2時間5回)

【2007年】営業ノーハウの確立

- ・企業支援のための営業活動のノーハウが確立できた。新規の支援先企業:10件
- ・支援内容:経営課題整理、経営戦略策定、経営計画策定、新規事業進出戦略の策定、新製品開発、販路開拓、ホームページの制作、Web営業戦略の策定

【2008年】モデル事業の受託 第1回

- ・平成20年度新現役チャレンジ支援事業(モデル事業)の受託実施、支援企業:27件
- ・島根県商工労働部、(財)島根県産業振興財団との共催で島根県の中小企業支援:3件

【2009年】モデル事業の受託 第2回

- ・平成20年度新現役チャレンジ支援事業(モデル事業)の受託実施、支援企業:20件
- ・経営戦略の重要性を理解して頂き、継続的に自社戦略を維持できるようになる。

【2010年】ISO9001の認証取得

- ・ISO9001認証取得企業:1件
- ・支援企業:8件

【2011年】支援ネットワーク事業の活用

- ・中小企業支援ネットワーク強化事業:
支援実施企業:2件

【2012年】工団連の専門家派遣の活用

- ・東京工業団体連合会(工団連):
支援実施企業:3件
- ・前期の活動結果:有償支援数:14件、
有料支援数:4件
- ・後期の活動結果:有償支援数:12件、有料支援数:3件



【2013年】経営革新計画の承認取得

- ・経営革新計画に係る承認企業:2件
- ・前期の活動結果:有償支援数:14件、有料支援数:4件
- ・後期の活動結果:有償支援数:12件、有料支援数:3件
- ・顧客データベースの活用: ①顧客情報の品質向上、共有・活用の活性化
企業支援活動の情報共有による支援品質の向上やプロジェクト推進の円滑化

ITCカンファレンス

■2005年 経営者インタビュー(ITコーディネータに支援を受けた印象、感想)

- ・大洋機械株式会社 : 経営課題を短期・中期・長期に分けてまとめることができた。
- ・有限会社安久工機 : アドバイスを元にホームページをリニューアルした。
- ・有限会社大森精工 : 今後に向けてのアイデアだしができ、改善に取り組んでいる。
- ・フィーサ株式会社 : 課題である「ものを売る」についての指導をお願いしたい。
- ・有限会社松浦製作所 : 経営課題を整理でき、自社を客観視できるようになった。

■2006年 ITコーディネータの活動と成果

- ・有限会社大森精工 : 今まで気づかなかった点についてアドバイスを受けた。
- ・有限会社安久工機 : ホームページ活用で売上が向上した。
- ・有限会社松浦製作所 : ITだけでなく、経営の相談にも乗ってもらった。
- ・Afje(アフジェ)株式会社 : 定年後の優秀な人材活用について研究している。

■2007年 起業支援実践活動

- ・大田区企業の課題把握と解決への検討を、ITCの実践活動で実施(実践道場)。
- ・45社の企業を訪問し、3社の支援を実施。継続支援企業1社。

■2007年 成功事例講演

- ・題目 : 二代目若手社長の経営戦略
- ・講演者 : 有限会社大森精工 池田一秀社長
- ・講演内容 : 経営戦略策定プロセスに従って、経営理念、経営目標、全社戦略、機能別戦略の策定結果をご報告いただいた。



ワークショップ

■2006年 事業承継を考える(第1回)

- ・これから経営への取り組みに対するヒントや気づきを得ることを目的にワークショップを開催。
- ・若手経営者、若手後継者が5名参加。
- ・各参加者が本音で話し合い、課題の共有化を行った。
- ・各参加者が最も重要であるとする課題は、「人材確保」と「人材育成」の二つであった。
- ・様々な考えを持つ経営者同志の話し合いから、様々な気づきを得ることができたという意見をいただいた。

■2008年 事業承継を考える(第2回)

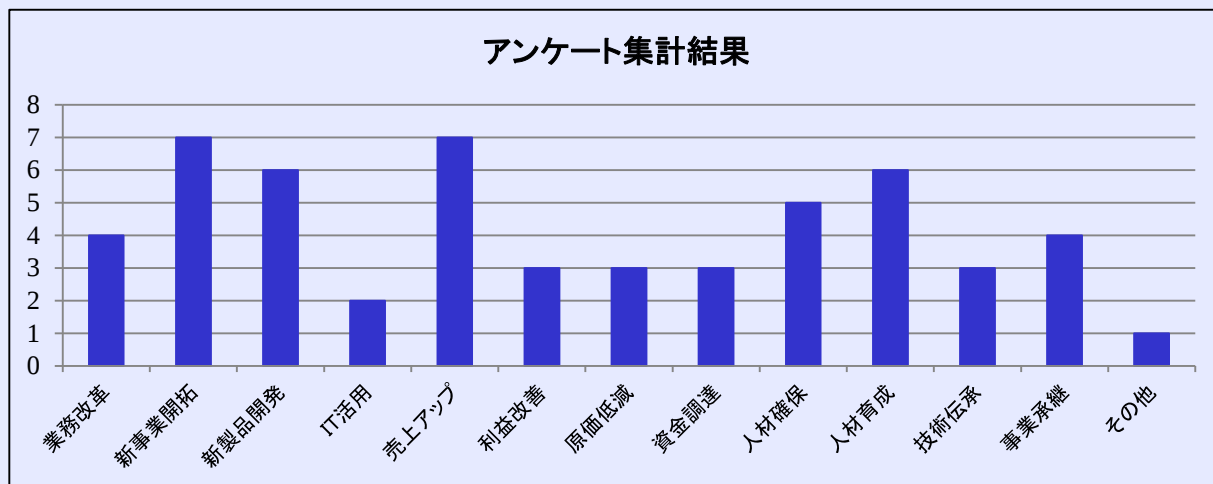
- ・リーマンショックによる経済混乱の中、どのように事業継続していくべきか話し合うことを目的としてワークショップを開催。
- ・1社の廃業が他社の事業継続に重大な影響を与え、ひいては地域全体の産業に影響が波及するという気づきを得た。



おおた工業フェア

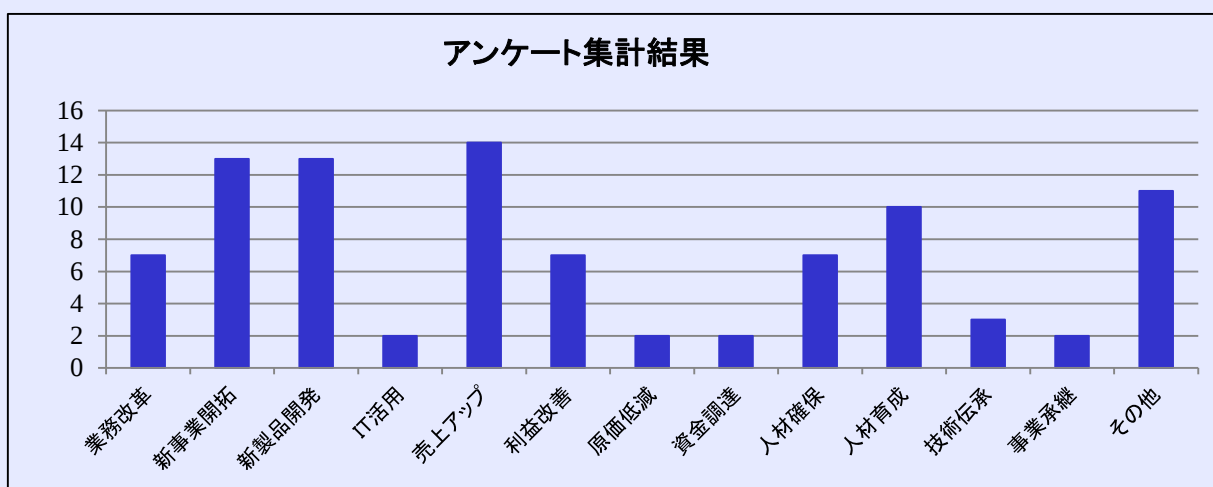
■2012年

- ・アンケート回収数(23件)、無料支援の実施(1社)、大田工連との連携(1社)
- ・リーマンショックの影響がまだ続いていた。



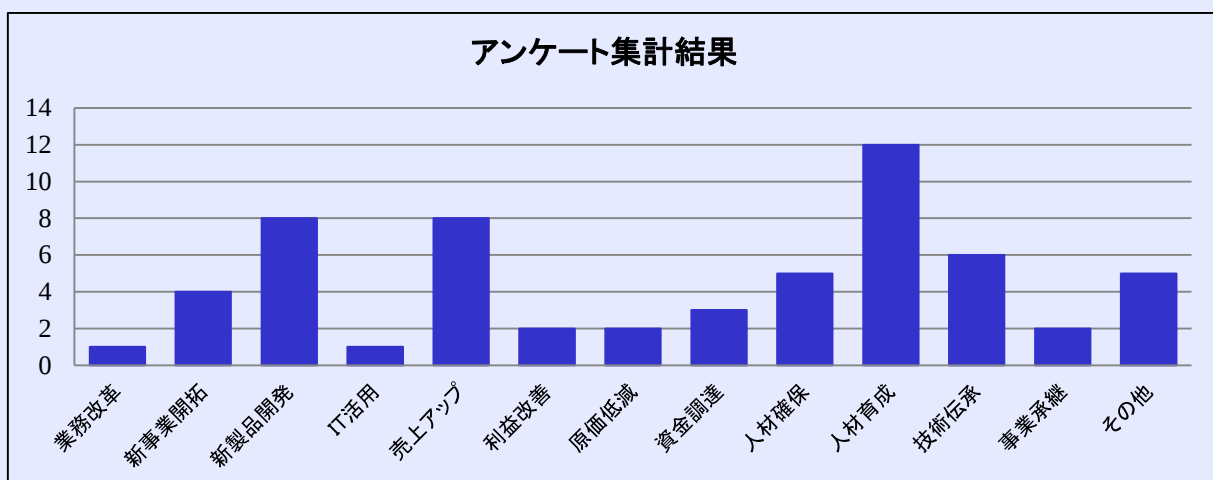
■2013年

- ・アンケート回収数(70件)、訪問アポ(12社)、支援申込企業数(1社)
- ・リーマンショックの影響がまだ残っていた。



■2014年

- ・アンケート回収数(41件)、訪問アポ企業数(6社)、支援申込企業数(2社)
- ・リーマンショックの影響がやわらいできた。



セミナー活動

【2007年】

■島根県経営応援隊事業へのセミナー講師派遣

- ・テーマ:二代目若社長の経営改革、わが社の戦略づくり(演習)
- ・出席者:企業経営者30名、企業支援者13名

■大田区産業振興協会主催「経営改善セミナー」の講師を担当

- ・テーマ:わが社の戦略づくり(演習)
- ・出席者:企業経営者30名、企業支援者13名

■ITCカンファレンス2007特別企画セミナー

- ・金型製造業における経営革新
- ・出席者:企業経営者10名

【2008年】

■経営者研修事業

- ・テーマ:自社の経営戦略を策定
- ・出席者:企業経営者24名

■経営者向けセミナー

- ・テーマ:自社の経営戦略を策定
- ・出席者:企業経営者19名

■新現役人材スキルアップ研修会

- ・テーマ:コミュニケーション研修
- ・新現役のメンバーが27名参加

■島根県・しまね産業振興財団主催のセミナーへ講師を派遣

- ・テーマ:ものづくり受注力向上セミナー
- ・出席者:企業経営者11名、企業支援者10名

【2009年】

■経営シミュレーション研修『製造業向けビジネスゲーム』

- ・財務管理の重要性、数字の見方、作り方を分かりやすく習得できる。

【2010年】

■中小企業会計啓発・普及セミナー

- ・適切な会計処理による決算を作成する意義・必要性と、経営に活かす方法について解説
- ・出席者:企業経営者、財務担当者14名

■IT経営実践セミナー(入門編)

- ・テーマ:これからの経営をさらによくするために
- ・出席者:企業経営者14名

■中小企業経営者のためのIT経営実践セミナー

- ・テーマ:中小企業7社の成功事例から学ぶ
- ・出席者:企業経営者7名

【2012年】

■経営体感ゲーム研修の講師養成研修(パティシエ)

- ・経営体感研修の普及を目的として実施(顧客企業幹部の育成に活用)

【2013年】

■ビジネスゲームで学ぶ経営マネジメントカパワーアップ講座(製造業編)

- ・受講者が仮想製造業の経営者となって、会社を成長させる過程を学ぶ。
- ・製造業経営の理論と実践をゲームを楽しみながら体感・習得できる。



NPO設立(2008年6月設立)

■設立趣旨

これからの時代を生きていく中小企業は、経営環境の変化に対応した不断の経営革新を行い、経営環境を自らの敗因のせいにしないで、自立し市場での存在価値を高めていく必要があります。しかし大企業と異なり多くの経営資源を持たない中小企業の1社のみの努力は限られており、複数の企業間、有識者、行政や金融機関、さらには地域社会との連携が必要です。

私達はこの実現のため、地域の企業経営者が中心となりこれらを支援する多くの人達や機関の連携を行い、様々な企画をコーディネートしながら、地域社会の振興に貢献することを目的としてNPO法人の設立を行いました。

■設立の経緯

「モノづくり応援隊in大田区」は2008年6月に特定非営利活動法人として、法人としての新たな活動を開始いたしました。

これより前、2005年よりITコーディネータが始めた任意団体としての「モノづくり応援隊in大田区」は、経営者研修会、ワークショップ、セミナーなどを行いながら、多くの企業のご支援をさせて頂きました。個々の企業支援を行う中で、共通する課題や1社のみでは対応できない地域社会全体に関わる大きな課題なども明らかになり、またITコーディネータに対する企業側からの期待も、従来のような支援のみではなく、現場に即した課題解決へのコーディネータとしての役割が大きいことも明らかになって参りました。

そのため任意団体「モノづくり応援隊in大田区」を発展解消し、地域の企業経営者が運営の中心となり、コーディネータが事務局機能を分担する組織に置き換えることと致しました。



地域連携

■2008年 地域共同配送への取り組み

- ・工場の役員が運送係をかねるのは非効率であり、経営や拡販に専念できる環境を整備することを目的とし、大田区内の共同配送事業の構想を立案した。

■2009年 企業間連携の支援

- ・平成21年8月から(有)東新製作所を中心に数社で企業間連携「おおたグループネットワーク」を結成し二代目後継者が「次世代のものづくり」の形成へ積極的な活動を始めました。

(有) 東新製作所: 精密板金、溶接

(有) 丸鷹製作所: 大型NC旋盤加工

(有) カシワミルボーラ: MC精密機械加工

(株) 協福製作所: 横中繰り盤で特殊材の加工

渡辺研磨工業: 内外面のバフ研磨

(有) タップス: 横浜市鶴見区の樹脂加工

- ・「連携」によるマーケティング活動で、新市場の開拓、新顧客の獲得を図ることを最大のテーマとした。



法政大学MBA 中小企業診断士養成コース 経営診断実習の支援

■中小企業診断士養成経営診断実習支援の実施

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻MBA特別プログラム(中小企業診断士養成)の兼任講師として、NPOモノづくり応援隊in大田区の会員が大田区モノづくり企業で中小企業診断士養成経営診断実習を実施。

■支援企業

【2010年】支援企業:2社

・株式会社村重製作所 ・株式会社京浜工業所

【2011年】支援企業:6社

・株式会社フィーサ ・睦化工株式会社 ・株式会社西尾硝子鏡工業所
・ニイガタ株式会社 ・有限会社安久工機 ・トキワ精機株式会社

【2012年】支援企業:4社

・株式会社菱興社 ・株式会社スター精工業社
・株式会社カセダ ・有限会社ヤマモト容器

【2013年】支援企業:3社

・ムソー工業株式会社 ・株式会社志村精機製作所
・協和工業株式会社



ITCA中小企業経営支援実践能力養成研修

■狙い

製造業関連の豊富な知識・経験を持ち、ITの経営への利活用にすぐれた能力を持っているが実際の支援経験の少ないITコーディネータに、自主的なIT経営支援活動促進につながる実践体験と知識習得と中小企業経営支援、営業力の強化を図る。

■実績

【2012年】

- ・受講生:13名 支援企業数:7件
- ・受講者の声:本番での中小企業支援を体験できるほかにはない研修で、実践能力向上の効果は絶大である。特に、TNMSという非常に優れた手法の存在を知ったことは、大きな収穫になった。現在、モノづくり応援隊in大田区に入会して、企業支援を継続している。

【2013年】

- ・受講生:4名 支援企業数:3件
- ・受講者の声:実践道場の活動を通して、営業活動の流れを実感出来た。今後の自らの営業活動に活かしていきたい。



有限会社佐々木工作所

代表者：佐々木 勢二

所在地：大田区東雪谷5-11-13

資本金：1,000万円

設立：1957年1月

社員数：8名

URL：<http://home.s00.itscom.net/sasaki/>

事業内容：測定検査関係および表面処理装置の部品
(食品トレー・食品バスケット・医療用バスケット)
などの製造と精密板金加工

支援内容

「経営革新計画に係る承認申請書」の作成支援

経営革新計画のテーマ：

面打ちコイニング(圧印加工)の新技术開発による食品トレー等のバリの最小化

経営革新計画の概要

1. 独自開発の新バリ取り技術である、両面2列面打ちコイニング生産方式の開発を行い、加工時のバ리를最小化する。
2. この技術の主要顧客である食品メーカーへの部品供給により、最終製品である食品容器厚を薄く出来、部材の低コスト化および省資源化並びにトレーサビリティにも貢献可能となる。
3. 他社が行えない両面加工と両面2列加工の総合技術で、高いQCDを実現し、既存顧客からの受注拡大と新規取引先を獲得する。

佐々木社長のお言葉

1. 革新計画にかける意気込み
3年前からの地道な研究開発が、ようやく花開く時が来ました。
2. 顧客要求への想い
循環型社会を形成するための容器素材の多様化と薄肉化による顧客課題に対して、弛まぬ努力での研究と試作開発で技術革新を行い、環境変化への対応と顧客満足度向上を実現しています。
提案や試作から総合的に関わる企業として、より一層の信頼を得て、発展して行きます。
3. 取り組みへの評価
当社の技術を的確に伝える文書化の支援をしてもらったので、スムーズに経営革新計画の承認を受ける事ができました。

すべては ものづくり から



代表取締役 佐々木 勢二

新技术の面打ちコイニングのバリ取りによる製品例



カップ容器殺菌用
アルミ・トレー

レトルト殺菌用
ステンレス・トレー

27産労商支第522号

有限会社佐々木工作所 殿

経営革新計画に係る承認について

平成27年6月30日付けをもって別添書類により申請のあった経営革新計画については、中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律第9条第1項の規定に基づき承認する。

テーマ：面打ちコイニング(圧印加工)の新技术開発による食品トレー等のバリの最小化
計画期間：平成26年7月から平成31年6月まで

平成27年7月29日

東京都知事 外添 要

東京都

大田区のベーカリー

株式会社ラ・ヴェール

代表者：黒川みどり

所在地：東京都大田区下丸子4-6-19

資本金：2,700万円

社員数：8名

設立：1986年8月

URL：<http://www.la-vert.com>

事業内容

- パン・菓子の製造・販売
- 冷凍生地 of 製造・販売
- ベーカリーカフェの運営

新規事業へのチャレンジ

給食の定番メニューである「あげパン」は、大田区発祥の食べ物です。黒川社長は、そんな「あげパン」を自社の看板商品に、そして大田区のご当地グルメへ進化させるための取り組みに力を入れています。

昨年(2016年)の12月には、出来立てのあげパンを販売する「東京あげパン専門店」をオープンし、好評を博しています。

このようなチャレンジングな取り組みを実現するため、助成金の申請支援やホームページの立ち上げ支援等をモノづくり応援隊in大田区で実施しました。

支援メニュー

- 「東京都地域中小企業応援ファンド」の申請支援
- 「東京あげパン」ホームページ作成
- 「小規模事業者持続化補助金」の申請支援
- オフィシャルホームページ作成
- あげパンのご当地グルメ化支援

黒川社長のお言葉

大田区発祥の「あげパン」は当社だけのものではなく、地域全体の宝物です。今後は、当社1社だけで「あげパン」の活動に取り組むのではなく、大田区 of 他の企業や行政と連携を取りながら活動を継続していきたいと思ひます。

モノづくり応援隊in大田区には、今後もこれらの活動のサポートをお願いしたいと考えております。



おおた商い(AKINAI)・観光展

黒川社長(中央)



東京あげパン専門店



ラ・ヴェール スタッフ



馬込文士村の創作洋菓子店

パティスリー稲垣

代表者：稲垣 昭

所在地：東京都大田区南馬込4-17-4

資本金：900万円

社員数：2名

設立：2004年6月

URL：<http://www.ptinagaki.com/>

<https://ja-jp.facebook.com/ptinagaki/>

事業内容

- 冷凍ロールケーキの製造・販売
- ベーカリー製造・販売
- 冷凍ホールケーキ製造・販売

「花子とアン」にちなんだ土産品の商品化事業支援

NHKの朝の連続テレビ小説「花子とアン」主役の村岡花子は「赤毛のアン」翻訳者である。馬込文士村で最も長く生活した人であり、大田区とは大変縁が深い。馬込文士村では、好調な視聴率を背景に、観光客増加を期待している。赤毛のアンには様々な洋菓子が登場し、物語の魅力の一部を形成していることもあり、同書で多く扱われているコケモモを活用したパウンドケーキとオートミールのジンジャークッキーを土産品として商品化する事業である。

商品化メニュー

- 歓喜の白路-the White Way of Delight-

『赤毛のアン』冒頭でグリーンゲイブルズに向かうアンが感激した美しい林檎の並木路をイメージ。

- 花子さんの贈物

『赤毛のアン』を通じカナダ文化を日本に多く伝えた村岡花子さん。カナダとの交流をイメージしながら、お茶会シーンで登場したクッキーをアレンジして創った当店オリジナルクッキー。

取締役 稲垣 晶子様のお言葉

当店は馬込文士村エリアの中央に位置し、文士村ツアーの通り道でもあります。その文士の一人である村岡花子とその翻訳作の赤毛のアンを題材に考案した洋菓子が、大田区を代表する商品の一つに選ばれたことは、生まれも育ちも大田区である私にとって大変感慨深いものがあります。今後も地元大田区の更なる活性化に微力ながらも貢献できるよう精一杯努力していきます。



歓喜の白路-the White Way of Delight-



花子さんの贈物

おおた区報

熱中症を予防しましょう！
こまめな水分補給・帽子や日傘・エアコンを上手に活用

対象 曜日時、日程
申込方法、申込先

村岡花子が暮らしたまち大森
馬込文士村お散歩マップ
大森・馬込を歩いてみませんか。
特別出張所など施設で配布しています。

大田区 HP
「花子とアン」
推進委員会
活動中！

体感しよう！「花子の書斎」
大田文化の森で9月27日まで「村岡花子が暮らしたまち大森」展を行っています。現在「花子の書斎」7月30日からは「赤毛のアン」の舞台「カナダ・プリンスエドワード島」がテーマ。

「赤毛のアン」をイメージしたスイーツが大森・馬込の商店街から誕生！
商店街からさまざまなお菓子が新登場！
「大森 Sweets 散歩」はいかがですか？

JR 大森駅近くの
国登録有形文化財が情報拠点に
国登録有形文化財「ギャラリークラシック」(山王3-30-5)が9月30日まで情報拠点に花子の時代の地図や大森のジオラマなどを展示しています。

国際都市多文化共生推進課文化担当 ☎5744-1226 ☎5744-1518

プーリー・ギア制作のプロフェッショナル集団



株式会社辰美製作所

代表者：高原喜代美
 所在地：東京都大田区上池台3-18-4
 資本金：1,000万円
 社員数：18名
 設立：1983年8月
 U R L： <http://www.tatsumiseisakusyo.co.jp>



高原社長(前列左から3人目)

事業内容:

ギア、プーリー制作のプロフェッショナル集団

●丸物加工

- ・ギア ・プーリー
- ・シャフト ・その他丸物全般

●板物加工

- ・アルミ・ステンレス・真鍮・樹脂など各種素材に対応

経営理念:

精密加工部品のものづくりで、お客様の信頼にこたえる技術力と誠実な姿勢を守り、日々社会貢献を目指しています。

経営課題と支援に期待したこと

中期経営課題の設定と経営課題解決のための経営戦略策定の支援を期待した。

支援内容

中小企業庁「ミラサポ」の専門家派遣を利用して、経営課題を深掘り・整理し、経営戦略、具体的アクションプランの作成を支援した。

高原社長のお言葉

1. 今までの取り組みへの評価

現在の会社の状況を表面だけではなく、深く掘り下げて分析して頂き、抱えている問題を解決に導いて頂きました。

2. 今後の方針、期待すること

HPのリフォーム、新システム導入をステップにさまざまな問題に取り組めます。

今後も共に戦ってください！

よろしくお願いします。



工場内



加工機械



製品

金属加工から組み立てまで

株式会社 齋藤機械製作所

代表者 : 代表取締役社長 齋藤 浩吉
 本社工場 : 東京都大田区京浜島2丁目18番5号
 矢口工場 : 東京都大田区矢口3-5-3
 川崎事業所: 川崎市幸区小向仲野町11-9
 資本金 : 1,000万円
 社員数 : 50名
 創業 : 昭和32年6月



代表取締役社長
齋藤 浩吉氏

事業内容:

- 高精度部品
 - ・高速エレベータ用部品、医療設備用部品
- 機械加工から板金、組立の一環製造
 - ・書籍ラッピング装置、店舗用脱臭機
- 薄板から厚板まで
 - ・レーザー加工システムやタレットパンチ、溶接
まで効率化
- 試作から量産まで
 - ・3次元CAD/CAMと一貫生産システムにより
試作から量産までを柔軟にカバー

経営課題と支援に期待したこと

環境変化に伴う経営戦略策定更新の支援を期待した。

支援内容

大田区産業振興協会のビジネスサポート事業及び東京工業団体連合会の専門家派遣事業を活用して、経営課題を深掘りして経営計画を改めて整理し、具体的な実行計画の検討を行った。

齋藤社長のお言葉

1.今までの取り組みへの評価

経営支援をして頂いた事で現在の自社の強みと弱みが明確になったため、中長期的な目標を立てることができました。

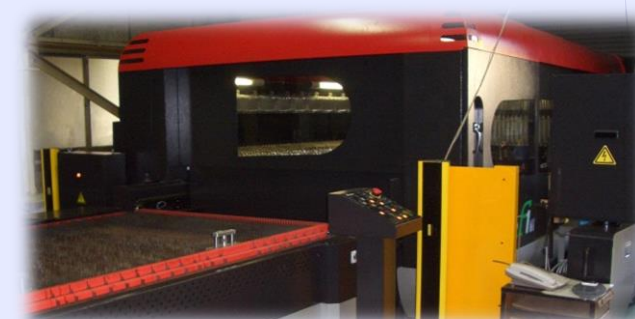
その他にも色々なアドバイスを受け、大変参考になりました。

2.今後の方針・期待すること

経営支援以外にも色々な面で支援をお願いしたいと思います。



本社工場



レーザー加工機



組立完成品例



加工部品例

経営支援プロジェクト

大田区の象徴でもあるモノづくり中小企業を顧客の主体とした経営改革支援活動は、2005年7月に発足したモノづくり応援隊in大田区の中核事業です。

2014年度の活動は、公的支援制度を活用した有償での支援件数は26件となり、前年の30件から減少しましたが、個別企業に費用を負担頂く有料支援件数は、7件となり前年の3件から倍増しています。この動きは、支援企業からより高い信頼を得ている結果と推察されます。

今後より一層支援実績の持続的成長を図るためには、顧客データベースの活用を含めての営業力や支援力、地域との連携力の強化が重要課題となります。

1. 2014年度前期の活動結果

実施時期:2014年4月1日～9月30日

参加会員数: 28名

チーム数:4チーム

有償支援数:14件、有料支援数:4件

2. 2014年度後期の活動結果

実施時期:2014年10月1日～2015年3月31日

参加会員数:29名

チーム数:4チーム

有償支援数:12件、有料支援数:3件

3. 顧客データベースの利活用

以下の目的の為に、システムを構築し、活用を行っています。

①顧客情報の品質向上、共有・活用の活性化

②企業支援活動の情報共有による支援品質の向上やプロジェクト推進の円滑化



中小企業診断士養成経営診断実習支援

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻 MBA特別プログラム(中小企業診断士養成)の兼任講師として、NPOモノづくり応援隊in大田区の会員5名が大田区のモノづくり企業3社で中小企業診断士養成経営診断実習支援を実施。

1. 支援実施事例 実習Ⅰ 製造業経営診断実習

実施期間:平成26年6月27日～7月25日

実習先企業名:細田工業株式会社

業種:ボーリング用ビット等ダイヤモンド工具の加工

実習先企業名:株式会社塩原製作所

業種:各種工業用のヒーター製造・販売

2. 支援実施事例 実習Ⅱ 経営戦略・経営計画策定実習Ⅰ

実施期間:平成26年10月24日～11月18日

実習先企業名:株式会社齋藤機械製作所

業種:金属製品,工作機械器具・一般機械器具,精密機械器具

3. 支援実施事例 実習Ⅲ 経営総合ソリューション実習

実施期間:平成26年11月25日～12月16日

実習先企業名:パティストリー稲垣

業種:冷凍ロールケーキ・ベーカリー製造・販売



株式会社塩原製作所



パティストリー稲垣

中小企業の「健康経営」、「社内教育」を支援



企業OB社内教育経験者のヨーガ療法士講師が出張指導。
ヨーガなど「東洋の智慧」を加えたビジネスパワーアップです。

1. ヨーガ療法を導入した健康増進

ヨーガレッスン、ヨーガ療法により、リラックスし、血行・健康増進します。肩こり・腰痛・疲れ・ストレス起因の不安・心身疾患などの心と身体のあらゆる問題改善を支援します。

- 自己心身コントロールで認知を変え、行動を変えます。
- 近年の脳科学で、「理性」よりも高いレベルにあると判明した「感性」を磨き人間を作る。
- 心身症・うつなど病気からの回復、これらを抱える職場、上長の対応法を支援します。
- 運動・歩行・筋トレを加え、疲労防止、活力向上、メタボ対応、病気の予防・改善を支援。
- 視力向上、病気症状別対応などのコースもあります。

2. 社内教育

「社内教育制度」、「経営理念策定」、「職場の不安解消」、「目標設定」、「課題解決」、「チームワーク」、「活性化、やる気の醸成」。ビジネスに活かす東洋の智慧として、「判断力・予見力・創造力向上」、「交渉術」、「モラル教育」など職場の課題対応、能力向上を支援します。

3. 内容を知って頂くための「癒しのヨーガ講座」を毎月2回開催。体験・見学できます。

日時： 毎月2回。水曜日午前および土曜日午後開催 詳細はオーちゃんネット

<http://www.kyoudou.city.ota.tokyo.jp/gnko05/pub/sheet.php?id=11660>

場所：「こらぼ大森」 東京都大田区大森西2-16-2

お問合せ・申込： ビジネスパワーアップ・ヨーガ研究会リーダー・ヨーガ療法士 杉岡 修次

sugioka@outluuk.com

Tel/Fax: 045-582-1145

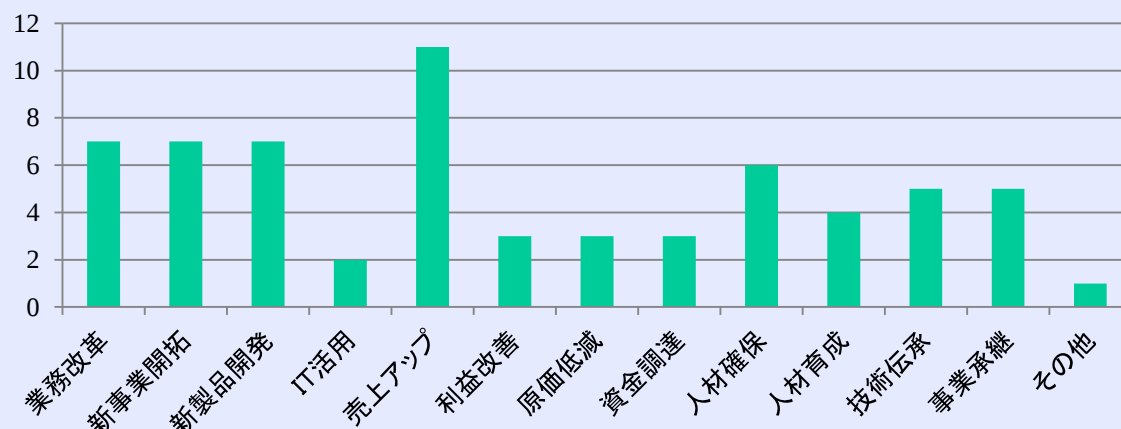
第19回おおた工業フェアへ出展

「NPOモノづくり応援隊in大田区」として出展

- ・開催期間：2015年2月5日（木）～7日（土）
- ・1ブース借用、会員説明員延数13名
- ・パンフレット：10種類（小冊子、セミナー等）
- ・アンケート回収数：51枚（結果下記のグラフ）
- ・海外ビジネスアンケート：25枚
- ・訪問アポ：16社
- ・支援申込企業数：3社



今回は台湾茶のサービスも実施



NPO モノづくり応援隊in大田区

会員連絡会

原則として毎月第2土曜日 15:00～17:00 こらぼ大森

各回の講演テーマ、講演者

- ・2014年4月 **産業用部材のネット販売と運営の事例紹介** 講師: 遠藤 仁 会員
- ・5月 **東京工業団体連合会等の支援事業について** 講師: 宮島 仁 会員
- ・6月 **採用される助成金・補助金申請用事業計画書作成のポイント** 講師: 井上 美夫 会員
- ・7月 **平成26年度 地域中小企業のシニアシニア人材の確保・定着支援事業**
講師: (株)クオリティ・オブ・ライフ社 アドバイザー 保田 邦雄 氏、平坂 靖規 氏
- ・8月 **実践用課題解決ツール:TNMS入門編の紹介** 講師: 田中 憲之 会員
- ・9月 **「東京あげパン」HPの作成について** 講師: 西岡 健太郎 会員
- ・10月 **事業承継セミナー :会社継続の判断ポイントと相続税対策のための公的支援の紹介**
講師: 遠藤 仁 会員
- ・11月 **設立10周年記念活動計画について**
講師: 小暮 英夫 会員
- ・12月 **工場用太陽光発電設備について**
講師: 小西 正暉 会員
- ・2015年1月 **IPAの活動内容のご紹介,
IPAとモノづくり応援隊in大田区との
活動**



講師: IPAソフトウェア高信頼化センター (SEC) 松本SEC所長、久保調査役ほか1名
ITCA 松下 部長

- ・2月 **地域コラボレーション型ママ応援プロジェクトのご提案** 講師: 横小路 八重子 会員
- ・3月 **ビジネスモデル作成の”地頭”を作る技法「BMG」の紹介** 講師: 小西 洋三 会員

特定非営利活動法人 モノづくり応援隊in大田区

<http://mono-ouentai.org>

事務局 info-oota@mono-ouentai.org

発行 2015年11月